

## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月27日

上場会社名 JSR株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4185 URL http://www.jsr.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小柴 満信  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 小島 昌尚 TEL (03)6218-3517  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 平成26年11月27日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	199,900	5.9	17,933	0.5	19,370	△5.0	13,007	△1.1
26年3月期第2四半期	188,785	3.4	17,847	4.6	20,380	3.2	13,147	△3.5

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 16,451百万円 (△10.2%) 26年3月期第2四半期 18,310百万円 (72.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	55.35	55.22
26年3月期第2四半期	55.37	55.24

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	513,852	349,941	67.0	1,464.25
26年3月期	501,319	337,259	66.1	1,409.06

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 344,055百万円 26年3月期 331,283百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	4.0	38,000	5.4	39,000	△1.6	28,000	11.2	119.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	237,973,205株	26年3月期	237,973,205株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	3,003,675株	26年3月期	2,862,706株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	234,989,880株	26年3月期2Q	237,458,672株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

平成26年10月27日（月）に、決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から同年9月30日)の概況

当社グループの主要な需要業界について概観します。

石油化学系事業につきましては、世界的に需給が緩和し、スプレッドが悪化しました。国内のタイヤ生産も消費税率改定の影響等により前年を下回りました。

多角化事業につきましては、半導体市場はスマートフォンや多機能携帯端末向け需要にPC買い替え需要も加わり好調に推移しました。フラットパネル・ディスプレイの生産は、大型TV向け需要の拡大とモバイル向けの好調継続により、前年の水準を上回って推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、石油化学系事業では、技術的に優位性を持つ製品の能力増強とグローバルな拡販を展開し、情報電子材料を中心とした多角化事業では、半導体最先端技術に対応した素材への注力、大型TV向け材料の東アジアにおける技術サービス体制強化等を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,999億円(前年同期比5.9%増)、営業利益179億33百万円(同0.5%増)、経常利益193億70百万円(同5.0%減)、四半期純利益130億7百万円(同1.1%減)となりました。

(単位:百万円)

区分	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上高						
エラストマー事業	96,408	51.1%	98,201	49.1%	1,793	1.9%
合成樹脂事業	26,491	14.0%	26,968	13.5%	476	1.8%
多角化事業	65,886	34.9%	74,730	37.4%	8,844	13.4%
合計	188,785	100.0%	199,900	100.0%	11,114	5.9%

国内売上高	92,734	49.1%	94,692	47.4%	1,958	2.1%
海外売上高	96,051	50.9%	105,207	52.6%	9,156	9.5%

区分	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	比率
営業利益	17,847	9.5%	17,933	9.0%	85	0.5%
経常利益	20,380	10.8%	19,370	9.7%	△1,010	△5.0%
四半期純利益	13,147	7.0%	13,007	6.5%	△139	△1.1%

(セグメントの業績)

(エラストマー事業部門)

合成ゴムの販売につきましては、主に国内の自動車タイヤ生産の低調により、販売数量は前年同期を下回りました。売上高は原料価格上昇に伴う価格改定や為替影響により前年同期を上回りましたが、海外市況低迷や定期修繕費用の増加により利益は減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のエラストマー事業部門の売上高は前年同期比1.9%増の982億1百万円、営業利益は前年同期比41.7%減の49億92百万円となりました。

(合成樹脂事業部門)

合成樹脂の販売につきましては、自動車用途を中心に販売量が減少しましたが、原料価格上昇に伴う価格改定や為替影響により売上高は前年同期を上回りました。利益は販売量の減少による影響が大きく、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上高は前年同期比1.8%増の269億68百万円、営業利益は前年同期比56.7%減の8億11百万円となりました。

(多角化事業部門)

半導体材料の販売につきましては、スマートフォン・多機能携帯端末向け需要やPC買い替え需要が堅調に推移したことに加えて、当社シェアが高い最先端の20nm(ナノメートル)世代の量産が大手顧客で本格化したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

ディスプレイ材料の販売につきましては、大型TV向け需要やモバイル向け需要の堅調により、売上高は前年同期を上回りました。

多角化事業部門全体の利益は、半導体材料やディスプレイ材料の販売が堅調であったことにより、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の多角化事業部門の売上高は前年同期比13.4%増の747億30百万円、営業利益は前年同期比63.8%増の121億29百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年4月23日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法について給付算定式基準を適用し、割引率の算定方法を変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,498百万円減少し、利益剰余金が964百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33,390	31,737
受取手形及び売掛金(純額)	87,613	84,122
有価証券	81,004	98,665
たな卸資産	78,689	80,498
その他	45,804	35,749
流動資産合計	326,504	330,773
固定資産		
有形固定資産	95,630	100,302
無形固定資産	7,250	7,883
投資その他の資産		
投資有価証券	60,952	64,541
その他	10,982	10,351
投資その他の資産合計	71,935	74,892
固定資産合計	174,815	183,078
資産合計	501,319	513,852
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	85,333	82,018
短期借入金	15,578	14,042
未払法人税等	6,396	5,369
その他	25,133	29,036
流動負債合計	132,442	130,467
固定負債		
長期借入金	11,069	13,287
退職給付に係る負債	15,242	13,883
その他	5,305	6,271
固定負債合計	31,617	33,443
負債合計	164,059	163,910
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,320	23,320
資本剰余金	25,179	25,179
利益剰余金	269,620	278,944
自己株式	△5,087	△5,355
株主資本合計	313,033	322,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,467	12,878
為替換算調整勘定	6,971	9,182
退職給付に係る調整累計額	△188	△94
その他の包括利益累計額合計	18,250	21,966
新株予約権	792	834
少数株主持分	5,183	5,051
純資産合計	337,259	349,941
負債純資産合計	501,319	513,852

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	188,785	199,900
売上原価	140,028	149,740
売上総利益	48,756	50,159
販売費及び一般管理費	30,909	32,226
営業利益	17,847	17,933
営業外収益		
為替差益	593	1,188
その他	2,309	1,168
営業外収益合計	2,903	2,356
営業外費用		
営業外費用合計	370	919
経常利益	20,380	19,370
特別損失		
投資有価証券評価損	135	509
たな卸資産廃棄損	241	-
その他	23	-
特別損失合計	401	509
税金等調整前四半期純利益	19,979	18,861
法人税等	7,276	6,285
少数株主損益調整前四半期純利益	12,703	12,576
少数株主損失(△)	△444	△431
四半期純利益	13,147	13,007



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,703	12,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,563	1,411
為替換算調整勘定	2,197	2,399
退職給付に係る調整額	-	94
持分法適用会社に対する持分相当額	846	△29
その他の包括利益合計	5,606	3,875
四半期包括利益	18,310	16,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,816	16,649
少数株主に係る四半期包括利益	△506	△198

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	19,979	18,861
減価償却費	8,576	8,144
受取利息及び受取配当金	△445	△581
支払利息	55	164
持分法による投資損益 (△は益)	△1,429	77
投資有価証券評価損益 (△は益)	135	509
売上債権の増減額 (△は増加)	14,426	3,437
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,907	△731
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26,048	△3,423
その他	12,895	9,968
小計	24,237	36,426
利息及び配当金の受取額	858	806
利息の支払額	△47	△150
法人税等の支払額	△6,915	△7,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,132	29,940
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	8,499	△1,498
有価証券の増減額 (△は増加)	15,500	△22,000
固定資産の取得による支出	△12,541	△12,110
投資有価証券の取得による支出	△654	△414
関係会社株式の取得による支出	△834	△1,262
貸付けによる支出	△1,326	△1,102
貸付金の回収による収入	1,067	1,415
その他	109	△252
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,820	△37,225
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△124	△1,477
長期借入金の返済による支出	-	△876
長期借入れによる収入	940	2,209
自己株式の取得による支出	△2	△268
配当金の支払額	△3,938	△4,495
少数株主への配当金の支払額	△40	△28
その他	△6	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,171	△4,944
現金及び現金同等物に係る換算差額	943	1,245
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	25,725	△10,983
現金及び現金同等物の期首残高	53,818	91,114
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	-	498
現金及び現金同等物の四半期末残高	79,543	80,629

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エラストマー 事業	合成樹脂事業	多角化事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	96,408	26,491	65,886	188,785	—	188,785
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,025	—	—	2,025	△2,025	—
計	98,433	26,491	65,886	190,810	△2,025	188,785
セグメント利益(営業利益)	8,567	1,875	7,404	17,847	—	17,847

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エラストマー 事業	合成樹脂事業	多角化事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	98,201	26,968	74,730	199,900	—	199,900
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,839	—	—	1,839	△1,839	—
計	100,041	26,968	74,730	201,740	△1,839	199,900
セグメント利益(営業利益)	4,992	811	12,129	17,933	—	17,933

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。